

1 もっと知りたいわたしたちのまち

自分の家やよく行く場所はどこにあるのだろう。



1 わたしたちのまちはどんなまち



さくら祭りの様子

てつやさんたちは、生活科のまちたんけんの^{がくしゅう}学習をふりかえりながら、自分の家やよく行く場所^{ばしょ}をしょうかいしました。



「ぼくの家は、海が近くいつも波^{なみ}の音が聞こえて、気持ちのよい場所です。」



「わたしがよく行く場所は、川です。さくらがたくさん咲^さいていて、春になるととてもきれいです。」



「ぼくは、山も好きなので、おうちの^す人とよく山登^{のぼ}りをします。とても気持ちがいいですよ。」



むろらはちまんぐう
室蘭八幡宮



えき
東室蘭駅



室蘭駅のまわり



さか
坂のまわりに建つ家

みんなで話し合ってみると、おたがいに
知らない場所がたくさんあることがわかり
ました。それぞれの場所がどこにあるのか
をたしかめてみることにしました。



まちには、どんな場所があって、
どんな様子なのかな



東室蘭駅のまわりは、どんな様子なのだろう。



東室蘭^{えき}駅のまわりコースをたんけん



東室蘭駅

ななみさんたちは、駅のまわりを歩いてかんさつし、いろいろなしせつやたてものがあることがわかりました。



「駅の近くに、消防署^{しょうぼうしょ}があったね。くんれんしている人がいたよ。」



「ゆうびん^{きょく}局もあったよ。一度見学してみたいな。」



「駅の中にえきが^ばるセンターという場所^{しょ}があったよ。たくさんの人がりようしていたね。なにをしたらいいかな。」



「少し歩くとバスのターミナルもあったよ。駅のまわりには、いろいろなしせつがあつまっているみたいだね。」



東室蘭ゆうびん局



バスターミナル



えきがるセンター



消防署



東室蘭駅のまわりの地図

町たんけんで
しらべたことを
地図に表してみ
よう。

土地の高いところとひくい所はどんな様子なのだろう。



土地の高いところとひくい所コースをたんけん



はち まん ぐう
室蘭八幡宮から見た
みなとのようす



さか
坂の下から見上げたようす

てつやさんたちは、土地の高い所やみなとの近くをたんけんしました。



「坂をあがってくと、たくさんの方がならんでいるね。」



「ここからさらに坂を上がっていくと、^{じん じゃ}神社が見えてくるよ。」



「みなとの方はそうこや工場がたくさんあるね。」



「みなとの近くの^{どう ろ}道路にそって、船がたくさんならんでいるよ。」



「ときどき、大きな船がとまっていることもあるね。」



「ここから白鳥大橋^{はし}も見えるよ。りっぱな大きな橋だね。」



白鳥大橋



はこだて
函館どっくのように



立ちならぶそうこ



みなと
港にとまる船



町たんけんでは
しらべたことを
地図に表してみよう。

まちの様子を表
にまとめよう。



みんなの学校
の近所には、ど
んなしせつがあ
るでしょうか。

2 いろいろなしせつ

1 みんながりようするしせつ

まちたんけんで見つけた公共^{こうきょう}しせつにつ
いて、たんけんしたメンバーと話し合いま
した。すると、室蘭市の中には、たくさん
の公共しせつがあることがわかりました。



文化センターの
大ホールはすごい



青少年科学館^{か がく かん}では
いろいろな体験^{たい けん}ができるわ



私は、図書館に
行ってみたいわ



どこかのしせつを
見学してみたいな。



きらん



こう いき
広域センタービル



すい ぞく かん
室蘭水族館

しせつ見学の計画の立て方

- 1 見学する日をきめる。
 - ・しせつのつごうを聞いてきめる。
- 2 しらべてくることをきめる。
 - ・どのような人たちがりようしているか。
 - ・どのようなりようのしかたをしているか。
 - ・りようするときのきまりがあるか。
 - ・はたらいている人に感想や意見^{かん そう い けん}を聞く。

3 港がある私たちの市



町並み^な



わし別^{べつ}だけ



岸^きぺき作業



わたしたちの学校は
どこかしら。



同じ市なのに、ずいぶんと
ちがいがあるね。



外海がわ



工場ぐん



そくりょう山



大黒島

地図でくわしく見てみよう。



写真^{しゃしん}だけでは、くわしい
様子がわからないわ。



北海道や市の地図をながめて



わたしたちの
すむ市は、北海
道のどこにある
のだろう。

みさきさんたちは、北海道の地図の中から、
室蘭市の場所を見つけました。そして、室
蘭市のまわりの市や町について、知ってい
ることを話し合いました。



「室蘭市は胆振^{いぶり}地方の中では一番南
になるのね。」

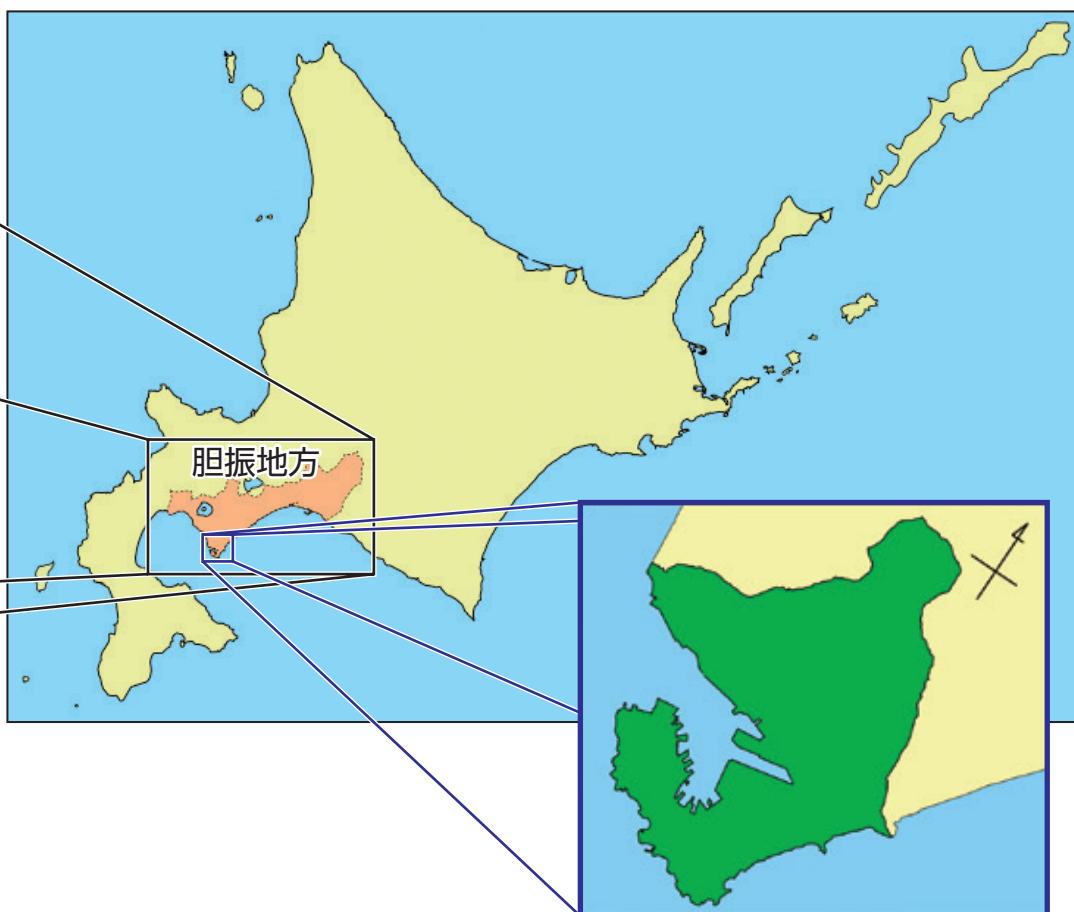
「洞爺湖町でキャンプをしたことが
あるよ。室蘭市の北にあるね。」



「登別市のおんせんに、家ぞくでと
まりに行ったことがあるわ。室蘭
市の北東にとりあっているのね。」

「スーパーでは、伊達市で作られた
牛にゅうや野さいを見るよ。室蘭
市の北西にあるね。」





室蘭市の広がりをも、白地図を作ってたしかめよう。



「胆振地方の中では、室蘭市は小さい方だね。」

がくしゅうもん だい
学習問題をつ
くって、見通し
を立てよう

「北海道の中では左下になるから、道内の南西にあるということだね。」



「室蘭市の外がわはぎざぎざしているけど、内がわはまっすぐなせんがおおいよ。どうしてだろう。」



市の大まかな
土地の使われ
方は、どのよう
になっているの
だろう。

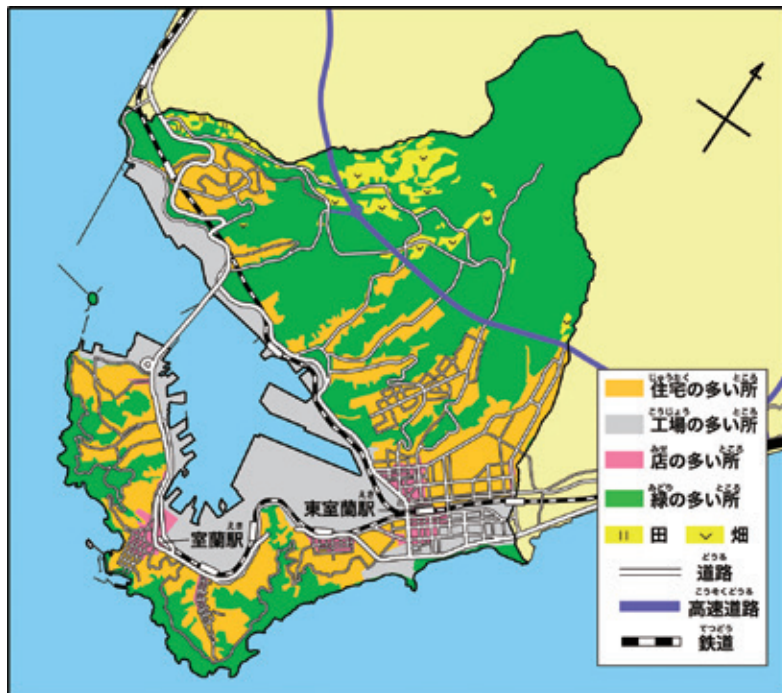
● 土地りようのようす

● ふうたさんたちは、市役所^{しやくしょ}に行き、室蘭
● 市の土地の使われ方^{つか}について、話を聞きま
● した。

市役所の北村さんの話



室蘭市は、山がちな地形が多く、古くからの住たくの多
くは坂のとちゅうにあります。市役所や駅のまわりには、店
や会社など大きな建物^{たてもの}が集まっています。わんの内側^{うちがわ}に
は大きな工場が多いのですが、その反対^{はんたい}がわには手つか
ずの自然^{しぜん}がのこっています。市の北や西の方にも緑の多
い所^{はたけ}があり、田や畑の見られる所もあります。



室蘭市の土地の使われ方の地図



それぞれの場所がどんな様子^{ようす}なのか、
もっとくわしくしらべてみたいな。

こうきょう

公共しせつの多いところ

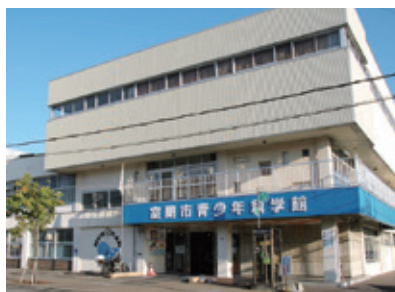
私たちは公共しせつの多いところを調べました。中央町の近くには、市役所・図書館・青少年科学館などがあります。また、少しはなれたところには、文化センターや、保健所、むろらん広域^{こういき}センタービルなど、みんなのためになる公共しせつが集まっています。

公共しせつの多い所はどのような様子なのだろう。

なぜたくさんの公共しせつが集まっているのかなあ？



市立室蘭総合病院



青少年科学館



室蘭市役所



文化センター



むろらん広域センタービル



図書館や科学館は行ったことがあるけど、市役所はまだ行ったことがないわ。



室蘭の港

港のまわりは、
どのような様子
なのだろう。

港と工場

私たちは、港や工場の多いところについて調べてみることにしました。

室蘭港には、たくさんのふとうがあります。
豪華旅客船が来港できる中央ふとう，フェ
リーなどが発着できるフェリーふとう，そ
して、日通ふとうがつづき，大きな船やコ
ンテナ船もやってくる崎守ふとうなどがあ
ります。



- | | |
|------------|-----------|
| ① 函館どつく | ⑧ 日鉄セメント |
| ② 西ふとう | ⑨ 本輪西ふとう |
| ③ 日 鋼 | ⑩ 香川工業団地 |
| ④ 日通ふとう | ⑪ 大黒島 |
| ⑤ フェリーふとう | ⑫ 南北ぼうはてい |
| ⑥ 日本製鉄 | ⑬ 白鳥大橋 |
| ⑦ イタンキ工業団地 | ⑭ 崎守ふとう |

室蘭港内の主な工場とふとう



崎守埠頭のガントリークレーン（主に鉄製品などをつみ出します）

工場は、祝津地区に、「函館どつく」があります。中央ふと^{ふとう}の東側には「日鋼」「日^{にっ}本製鉄（旧新日鐵住金）」「日鉄セメント」があります。

大きな工場は、港のまわりのうめたて地に多くなっていることがわかりました。



日本製鉄室蘭製鉄所

お店の多い所
は、どのような
様子なのだろう。

● 店の多いところ

● わたしたちは、店の多いところを調べま
● した。前の「お店調べ」で学習したように、
● 大きな商店がいがいいくつかありました。

● まずは、古くからにぎわっていた中央町
● です。ここは昔からの店やホテルなどがあ
● ります。また、中島町には大きな店やスー
● パーマーケットもあり、多くの人買いもの
● のにやってきます。

● 東町の弥生^{やよい}地区にも、多くの店が集まり、
● たくさんの人買いものにやってきます。

● 輪西^{わにし}地区には、大きなスーパーができて、
● 買いもの客が多くなってきました。この他
● にも、母恋地区や本輪西地区、白鳥台地区
● など、あちこちにも商店がいができています。
● これは室蘭市の特ちょうです。

中央町
のようす



中島町
のようす



弥生地区
のようす



輪西地区
のようす



交通のようす

市の交通のようすを調べてみました。

鉄道は、港をとりかこむようにつづいています。室蘭駅－母恋駅－御崎駅－輪西駅をへて、東室蘭駅があります。ここは、長万部方面と札幌方面の乗りかえ駅として、多くの人たちがのりおりしています。

道路は、鉄道とならぶようにつながっています。まちの北側を高そく道路が通っています。国道はイタンキ交差点から国道36号と国道37号に分かれます。1998（平成10）年に「白鳥大橋」が完成し、道路が港をぐるっとひとまわりし、交通がたいへん便利になりました。

港にはたくさんの船が出入りしています。2018（平成30）年に岩手県宮古市とつながるフェリー航路ができたほか、商船航路も本州とつながっていて、たくさんの人や車、荷物を運んでいます。

市の交通の様子について調べましょう。

車や列車、船、
いろいろな交通
手段があるのね。



白鳥大橋のようす

住宅の多い所
は、どのような様
子なのだろう。

新しい住宅地^{たく}

わたしたちは住宅の多いところを調べました。

室蘭市は、平地が少なく沢づたいに住宅がならんでいましたが、1966（昭和41）年ごろから市の北西にある白鳥台地区の開発をすすめ、ここに団地を作りました。その後、学校や病院、商店や公園などもでき、たくさんの人々が住むようになりました。

また、中島町をのぼった高台にある八丁平地区にも住宅がたつようになり、今ではたくさんの人々が住んでいます。ここには、高等学校や養護^{ようご}学校、自動車学校のほか、小学校や幼稚園^{ようちえん}もたてられ、大きな住宅地となりました。

さらに、知利別町の社宅^{あと}の跡地や、栄町の学校の跡地などにも住宅が建てられ、新しい住宅地が広がっています。



八丁平地区の住宅のようす

<コラム> 八丁平に飛行場があった！

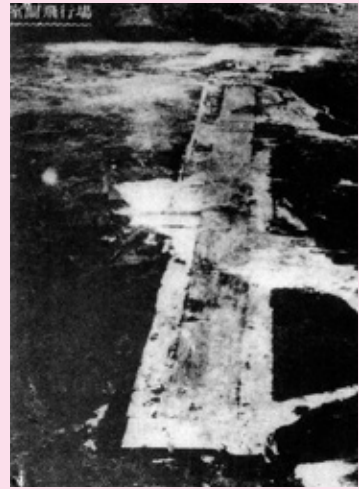
室蘭市に飛行場があったことを、みなさん知っていますか。

実は、今から約70年ほど前までは、あったそうです。

ちょうどそのころ、日本は外国と戦争をしていました。1935(昭和10)年から、八丁平に「市営飛行場」がつくられはじまりました。(今の室蘭中央自動車学校のあたりになります)

どんどん、戦争がはげしくなってくると、室蘭の港や工場を守るために、たくさんのへいたいさんがやってきました。八丁平の飛行場は、りくぐんの飛行機を飛ばすために、学生や町内会のたくさんの人々の手で広げられました。

できあがった飛行場は、はば20m、長さ800m だったそうです。



飛行場の写真

<コラム> 「都市計画^{とし}」って何？

室蘭市には、およそ8万4千人の人が集まり生活しています。このような中で、住宅地の真ん中にとつぜん大きな工場やお店がたってしまったら、周りの住宅には陽があたりなくなったり、しずかな生活が、人や車でさわがしくなることが考えられます。

このように、都市では自分の土地を使うのにも、まわりのことを考えないと多くの人にめいわくをかけることになります。

このため、多くの人が生活している都市では、土地の使い方やたてもののたて方にルールを決めて、それをおたがいがまもっていくことが必要になります。

また、都市で生活していく上で、道路や公園、下水道などの施設は、住宅の分ぶや人・物の流れ、他の都市との関係などを考えて、あらかじめ計画をたてておき、それにしたがってまちづくりをしていく必要があります。

このように、まちを住みよいものにしていくために、土地の使い方や建物の建て方についてのルールをはじめ、まちづくりに必要な多くのことがらを考えながら決めているのが「都市計画」です。



室蘭市の都市計画図(赤が商業地域、水色が工業専用地域などの指定がされています)

漁港や田畑のある所は、どのような様子なのだろう。

漁港や田畑のあるところ

私たちの住む室蘭市では、住宅のすぐ近くで小鳥やセミの声を聞くことができます。室蘭市は、工業のさかんな港町というイメージがありますが、自然にもめぐまれているのがとくちょうです。

^{え とも はん どう}絵鞆半島の外側の海（太平洋）は、多くの魚や海草にめぐまれ、クジラやイルカもときどきみられます。外海に面した地区にはこの自然をいかして漁業をしている人が住んでいます。

いっぽう、わし別岳^{べつ だけ}（室蘭岳）のすそ野^{や さい}に広がる香川町や石川町では、お米や野菜をつくっている人や、牛やうずらをかっている人がいます。



これまでに調べてきた市の様子を
まとめよう



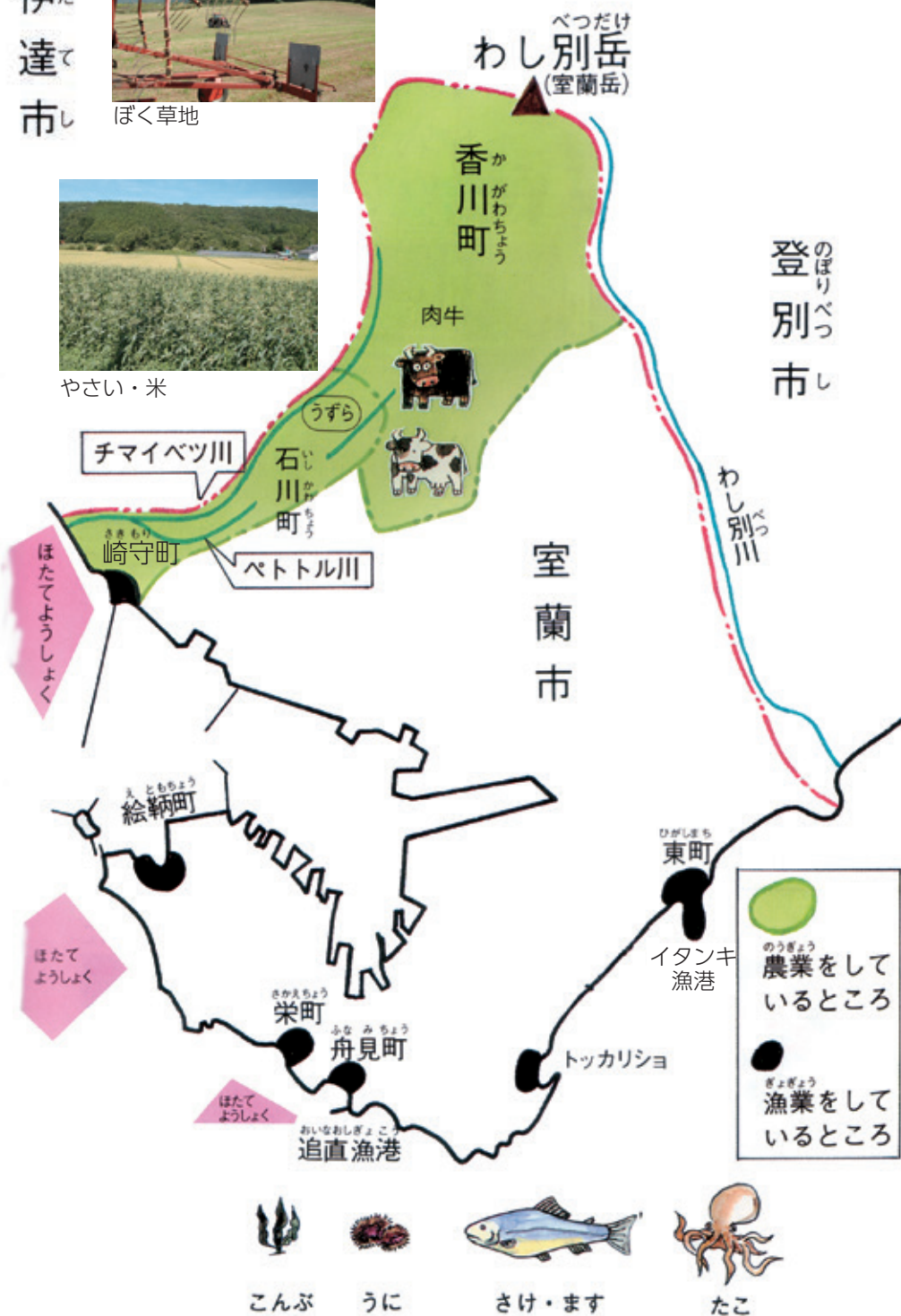
伊達市



ぼく草地



やさい・米



・漁港をたずねて



空からみた追直漁港
おいなおし

どんな魚や貝、
海そうがとれるの
でしょうか。

また、そのとり
かたのちがいの
調べてみましょう。



「漁港の様子を調べてみたいな」

てつやさんは舟見町の追直漁港にやってきました。ふな み ちょう おいなおしぎょう
室蘭漁業協同組合のおじさんの
ぎょぎょうきやうどう
お話では、70せきほどのぎょ せん漁船が、この漁港
で魚や貝、海そうなどをとっているそうです。

この漁港には、室蘭漁業協同組合や地方
おろしうり卸売市場追直分場ぶんじやうのたてもの、魚をとるあ
みや魚を入れるはこなどをしまっておくそ
うこ、魚をひやす氷をつくり・ためておく
しせつ、船のねんりょうをいれておくタン
クなどがあります。

漁港の海には黒やオレンジ色の玉がたくさんうかんでいます。「あれはうき玉と言って，あの下でホタテやウニなどを育てているんだよ。」と，おじさんが教えてくれました。



海にうかぶうき玉

さいばいすいざん し けんじょう

栽培水産試験場



みなさんは栽培水産試験場に行ったことはありますか？正式には，北海道立総合研究機構水産研究本部栽培水産試験場といいます。

ここでは，魚や貝などを卵たまごからそだて，魚を元気に大きくそだてることはできないか，貝を多くふやすことはできないかなどの研究をしています。また，この地域いきにいる魚や貝などの大きさや年れいを調べています。

そうしてわかったことを「つくり育てる漁業」や「魚などがへらないようにじょうずに利用する漁業」に役立てています。

マツカワ，キツネメバル，ニシン，シシャモ，ケガニ，アサリ，ホッキ，ホタテなど，たくさんの魚や貝の研究をしています。



マツカワ

Mランド

平成25年3月にできた、全国ではじめての2階だての沖合人工島^{おきあい}です。サッカー場ほどの広さがあり、ホタテを育てたり毛ガニをとってきたりする場所として利用されているほか、市民のみなさんが海に親しむ「ふれあい漁港^{きだい}」としての利用も期待されています。



体験学習のようす

かいそう 海藻研究所

みなさんは、海藻研究所って知っていますか？正式には、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター室蘭臨海実験所^{りんかいじっけんしよ}といます。

ここでは、噴火湾^{ふん か わん}に生息するコンブやさまざまな種類の海藻類^{せいそく}について、どうやって海藻が生まれ、育っていくのかといったことなどを研究しています。

研究所のある噴火湾は、千島寒流^{ちしまかんりゅう}と津軽暖流^{つがるだんりゅう}の2つの海流が流れ込むため、200種類以上というとても豊富な海藻類が生息する場所となっています。ここでは、世界でもめずらしい種類の海藻もみることができ、栽培漁業などにおいても、地域にこうけんしています。



研究所のたてものと場所

「つくりそだてる漁業」

海にいる生き物は、とるだけだと数がどんどんへってしまい、いずれとれなくなってしまう。だから、いつまでもおいしい魚や貝が食べられるように、漁師さんはとるだけでなく、魚や貝を育ててふやしています。これを「つくりそだてる漁業」といいます。このことは、たいへんな努力や苦労が必要です。

また、海の生き物が元気に育つには、元気な森が必要です。元気な森にするため、漁師のおくさんやお母さんが、山に木を植える活動をしています。

室蘭で育てている魚介類ぎょかい

・ナマコ

2cmくらいの子どもを海に放し、5～6年後に自然に大きくなるのを待ってからとります。

・サケ

秋に川へのぼる大人からとったたまごをふ化させ、赤ちゃんを5cmくらいまで育ててから、春に川へ放して、3～4年後に大きくなって帰ってきたサケをとります。



山に木を植える活動



ホタテを育てるカゴとホタテの子ども

・ウニ

赤ちゃんを2cmくらいまで育ててから海に放し、1～2年後に5cm以上に大きくなるのを待ってからとります。

・ホタテ

海の中で、かごに入れたりロープにつるして（耳づり）育てます。かごで5cmくらいに育てた子どものホタテと、かごや耳づりで2～3年かけて大きく育てたホタテを出荷しゅっかします。

室蘭の名勝^{めい しょう}

名勝とは

言い伝えに登場するなどさまざまな由来^{ゆらい}をもち、美しいけしきをもつ土地で、これを大切に守っていくために、国が指定^{ししてい}した土地のこと。

「ハル・カル・モイ」

アイヌ語で「食りょう・とる・入江」という意味です。

地名のとおり魚や貝などを採るのに使われた場所なのでしょう。



ハルカラモイ

「マシ・チセ」

アイヌ語で「海ネコ(の)・家」という意味です。

今も海鳥が多く、すを作っている場所です。

アイヌの人たちがかりをしたあとも見つかっています。



ますいちはま
増市浜



ハルカラモイ

ますいちはま
増市浜

ちきゅうみさき
地球岬

ムロランの土地の名前の由来^{ゆらい}

室蘭市には、アイヌ語がもとになった地名が100以上あります。

室蘭(むろらん) → モロラン・モルエラン(ゆるやかに下る坂)

茶津(ちゃつ) → チャシ(とりで)

絵鞆(えとも) → エンルム(みさき)

イタンキ浜 → イタンキ(おわん)

幌萌(ほろもえ) → ポロ・モイ(大きい湾^{わん})

みなさんも、こうした地名がないかさがしてみましよう！

えともはんとうそとかいがん
 名勝ピリカノカ絵鞆半島外海岸として、平成24年
 (2012年)新たに国の指定を受けました。
 「ピリカノカ」アイヌ語で「美しい・形」という意
 味です。



「トゥカル・イショ」

アイヌ語で「アザラシ・岩」
 という意味です。

今、アザラシはなかなか
 見られませんが、かつて
 はよく来ていたことを示
 す地名です。



「ポロ・チケプ」

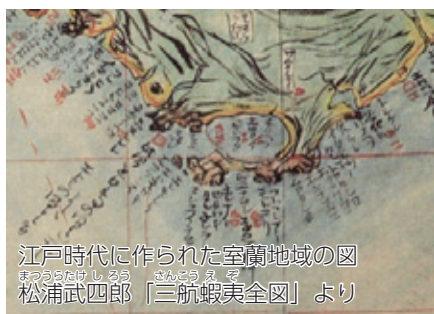
アイヌ語で「親である・
 がけ」という意味です。

とう台で有名な地球岬で
 すが、アイヌ語の地名の
 とおり、海からみると写
 真のようにとても大きな
 がけになっています。

むかしの室蘭の地図



絵鞆半島に付けられたアイヌ語地名
 明治初め頃「胆振国室蘭郡全図」より



江戸時代に作られた室蘭地域の図
 松浦武四郎「三航蝦夷全図」より

市内にはアイヌ語の地名が多く、古くからアイヌの人たちが生活していた
 ことを示しています。

むかしの人たちは、いったいどんな生活をしていたのでしょうか。